

承認 	議長 	副議長 	事務局長 	次長 	合議 	担当
--------	--------	---------	----------	--------	--------	--------

様式第1号

令和7年 6月 30日

真庭市議会
議長 長尾 修 様

真庭市議会議員 緒形 尚

~~調査研究、研修会、要請、陳情活動届~~

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 ~~調査研究~~ 研修会 ~~要請~~ ~~陳情活動~~

2 訪 問 先

①としま区民センター
(東京都豊島区東池袋1丁目19番1)

3 内 容

①自治体の効果的な婚活支援を考える
人口減少・少子化に立ち向かう！
～ いま自治体が取り組むべき「結婚支援」戦略 ～

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ ☒ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

令和7年7月21日～22日		研修会参加者
No	名前	会派名
1	緒形 尚	明日の真庭を考える会

視察日程表 2025年7月21日～22日

	日付	出発	到着	イベント	内 容
1日目	7/21	15:20	16:40	自宅→岡山空港	車移動（米子道・中国道・岡山道経由）
		17:25	18:50	岡山空港→羽田空港	ANA658便
		19:30	19:46	羽田空港→品川駅	空港線（3駅・15分）
		19:52	20:20	品川駅→池袋駅	山手線（11駅・25分）
		20:22	20:31	池袋駅→ホテルグランドシティ	徒歩（9分）
				宿泊：ホテルグランドシティ	東京都豊島区東池袋1-30-7
2日目	7/22	9:47	9:50	ホテルグランドシティ→としま区民センター	徒歩（3分）
		10:00	13:00	自治体の効果的な婚活支援を考える 人口減少・少子化に立ち向かう！ ～いま自治体が取り組むべき「結婚支援」戦略～	としま区民センター 東京都豊島区東池袋1丁目19番1
		14:30	14:40	としま区民センター→池袋駅	徒歩（8分）
		14:45	15:15	池袋駅→浜松町駅	山手線（15駅・30分）
		15:20	15:36	モノレール浜松町駅→羽田空港	東京モノレール（2駅・16分）
		18:00	19:15	羽田空港→岡山空港	ANA657便
		19:30	20:50	岡山空港→自宅	車移動（米子道・中国道・岡山道経由）

報 告 書

令和7年 8月 4日

真庭市議会議長 長 尾 修 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 緒 形 尚 印



下記のとおり政務活動費を使用して ~~一~~調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和7年 7月 21日 (午前・午後) 3時20分 至 令和7年 7月 22日 (午前・午後) 8時50分
2	場 所	としま区民センター (東京都豊島区東池袋1丁目19番1) ----- ----- -----
3	用 件	自治体の効果的な婚活支援を考える ----- 人口減少・少子化に立ち向かう！ ----- ～ いま自治体に取り組むべき「結婚支援」戦略 ～ -----
4	概 要	別紙にて報告 ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----



【地方議会議員セミナー報告書】

受講者名：緒形 尚

受講日：令和7年7月22日（火） 10時～14時

開催場所：としま区民センター（東京都豊島区東池袋1丁目19番1）

主催団体：一般社団法人日本婚活支援協会

講師：後藤幸喜氏

講演テーマ：「人口減少・少子化に立ち向かう！ いま自治体に取り組むべき『結婚支援』戦略」

1. セミナー参加の目的

少子化・人口減少問題への対策として、自治体による結婚支援の重要性と可能性を学び、今後の施策検討に活用することを目的に受講した。

2. 講義内容の概要

- ・人口減少・少子化の現状分析
- ・全国的な出生率低下と未婚率の上昇
- ・晩婚化の影響とライフスタイルの変化
- ・地方における若年層の流出と定住課題

●結婚支援の社会的意義

- ・結婚支援は少子化対策の入り口であり、地域の持続可能性に直結する
- ・地域コミュニティの活性化と移住定着の促進につながる

●自治体による具体的施策事例

- ・婚活イベント、マッチング支援、相談窓口の設置
- ・民間企業・団体との連携による支援拡充
- ・地域課題に応じたオーダーメイド型支援策の必要性

●戦略的アプローチ提案

- ・若年層への情報発信の工夫（SNS、動画、地域メディア）
- ・結婚・定住を意識したライフデザイン支援（住居、雇用、教育）
- ・支援制度の効果検証と継続的改善

3. 所感と今後への活用

本セミナーを通じて、結婚支援が単なる個人のライフイベント支援に留まらず、地域の持続可能性や社会構造の維持に深く関わる重要な政策分野であることを改めて認識した。特に、少子化・人口減少の進行が自治体運営の根幹に影響を及ぼす中、従来の人口誘導施策や定住促進策では限界があることも明らかとなり、より根本的な価値観やライフスタイルへのアプローチが不可欠であると痛感した。

講義では、婚姻に至る過程における若者の不安、経済的・社会的障壁、価値観の多様化などが丁寧に分析されており、それらに寄り添った支援施策の重要性が強調された。また、自治体主導による支援の展開に加え、地域企業・団体との連携や官民協働による体制整備が有効であることも具体事例を交えて紹介され、大変参考となった。

今後は、自自治体においても以下の視点を踏まえた施策の検討と実施を行いたい。

- ・若者との直接的な対話機会の設計（ワークショップ、SNS 活用など）
- ・結婚後の定住支援策との連動（住居・育児環境の整備）
- ・地元企業による雇用支援とライフイベントの理解促進
- ・支援効果を測定する KPI の導入と施策改善サイクルの構築
- ・学校や地域団体との連携による啓発活動の強化

地域に根ざした結婚支援の充実は、単に婚姻数を増やすだけでなく、若者が将来設計を描きやすいまちづくり、さらには世代を越えた持続可能な地域社会の構築につながると確信している。今後、自治体での理解促進と制度設計への提言を行うとともに、具体的な行動に落とし込んでいく所存である。

◆移住婚施策に関する報告書

1. はじめに

近年、地方都市において人口減少および地域の若年層流出が深刻な課題となっている。こうした背景の中で、結婚を契機とした地方への定住促進策として「移住婚」に着目し、地域活性化の新たなアプローチとして検討することが求められる。

2. 移住婚の定義と意義

「移住婚」とは、結婚に伴い地方へ移り住み、地域に根ざした生活を築くライフスタイルである。若年層の家庭形成期における移住を支援することで、以下の効果が期待される：

- ・地方定住による人口の維持・増加
- ・空き家活用や地域資源の有効活用
- ・地域コミュニティの再構築・活性化

3. 現行施策の概要（真庭市）

真庭市では、移住婚を支援する取り組みとして以下の施策を実施している

- ・新婚世帯向けの住宅・家財購入補助制度の導入
- ・空き家紹介や暮らし体験を通じた地域定着サポート
- ・移住者向けポータルサイトによる情報発信と相談体制の強化

これらの施策は、移住者にとって安心感を与え、地域への馴染みやすさを向上させる効果を持つ

4. 今後の施策検討ポイント

移住婚をより持続可能な施策として展開するためには、以下の課題への対応が必要である：

- ・仕事と収入の安定支援：地元企業とのマッチング、テレワーク環境整備
- ・出会いの場の創出：地域理解を促進する交流イベントやマッチング機会の提供
- ・子育て・医療環境の整備：定住後の生活基盤を支える体制づくり
- ・利用者の声の反映：施策改善のためのアンケートやヒアリングの定期実施

5. おわりに

移住婚施策は、単なる定住支援や婚活施策にとどまらず、「人生の転機を地域と共に創造する」可能性を秘めた包括的なライフスタイル支援の一環である。個人が家庭を築く節目において地方

移住を選択することは、自らの人生設計と地域貢献とを両立させる主体的な取り組みとなり得る。

今後、行政と地域が一体となって、住居・雇用・子育てなどの生活基盤の充実を図るとともに、移住者が地域社会に安心して溶け込むための交流機会やフォローアップ体制の確立が求められる。また、移住婚経験者の声を活かした発信やデータ活用により、施策の持続的改善と他地域への展開も視野に入れた戦略的取り組みが必要である。

地域が「人を迎える力」を育み、移住者が「自分らしい暮らし」を実現できる土壌を整えていくことが、移住婚施策成功への鍵となる。今後は、より多様なライフスタイルに対応した柔軟な支援策の検討を進め、地方創生の新たな一歩として本施策を位置づけていくことが重要である。